

迫力ある歌声に

2月21日、追分公民館で夜のマチネコンサートが開かれました。アカペラグループ「じゃーんず」の元メンバーとしての経験を活かしソロ活動を開始した三浦タカさんと、追分中学校教諭森晴香さんが出演。同郷だという二人が、安平町で念願の初コラボを実現させました。

三浦さんは、伸びのある歌声でJポップやオリジナル曲など8曲を熱唱、約90人の観客から惜しみない拍手が贈られました。



協力の絆を深める

2月22日、2014年あびら女性の集いが町民センターで行われました。

集いでは、駒澤大学附属苫小牧高等学校吹奏楽局の迫力ある演奏やメイクアップアーティストとして活躍する坪谷菜穂子氏による講演が実施され、会場に足を運んだ多くの町民が演奏や講演を楽しんだほか、昼食後には友愛セールが行われ、お目当ての品を探し求める方で賑わいました。



合格を祝して

2月22日、安平町から自衛隊への入隊が決定した6名の入隊予定者激励会がレストラ・渡辺で実施されました。激励会は、来賓による祝辞や北海道知事からのメッセージが放映されるなど和やかな雰囲気で行なわれ、

入隊予定者の代表挨拶では、「あらゆる困難を乗り越えて、立派な自衛官になりたい」と強い気持ちを述べられていました。



北海道の明日を創る

2月25日、安平町誘致企業会による経済セミナーが追分公民館で行われました。

今年、ソチ五輪スキージャンプでメダルを獲得した、葛西紀明選手が所属するグループの株式会社土屋ホールディングス取締役会長土屋公三氏による講演。町内外から130名ほどの来場者が足を運ぶ大盛況となり、セミナー後の交流会では、安平町の特産品が数多く振る舞われました。



電源立地地域対策交付金を活用しました

電源立地地域対策交付金は、発電用施設の設置と運転を円滑に行うため、発電用施設の周辺自治体が行う公共用施設の整備や地域住民の福祉の向上を図ることを目的に自治体に交付されるものです。

安平町では、南早来発電所の所在町及び苦東厚真発電所の周辺町として、平成25年度は7,955千円の電源立地地域対策交付金を受け、小中学校及び給食センターの燃料費として使用しました。

(問合せ 企画財政課企画グループ ☎2751)

